剱岳八ッ峰

2009年5月2～4日
山本(L,記)、釣

剱は北アルプスの中でも遠いせいか、山を再開した後一度も足を延ばしていない。昔登ったのはチンネとか壁ばかりで尾根には源次郎に行ったことがあるくらい。だが頭の片隅には忘れ物のように八ッ峰が引っかかっていた。ここ2,3年春になるとその気になるのだが何となく流れてしまっていた。今年こそはと釣さんと話していて、今回も逃せば小生年齢的にもきつくなるばかり。天候と良きパートナーに恵まれ、剱本峰には届かなかったが八ッ峰主稜自体はトレースすることができた。

5/2(土)　晴

連休最中の混雑にもかかわらず、8時半には室堂着。まばゆいばかりの陽光の下、室堂平を雷鳥沢へ。重荷がずしりと肩にかかる。今日は平蔵谷出合までなので、ゆっくりとしたペースで雷鳥坂を登る。いろいろな人たちと前後しながら歩くがやはりスキーヤーが一番多いようだ。別山乗越で剱と対峙する。なんと威厳のある山だ。雪の付き方は少ないようだ。平蔵谷出合まで下り、ＢＣを設営する。ここにテントを張っているのは我々だけだ。みな剱沢に張っているのだろうか。眼前には源次郎一峰側壁がそそりたっている。

扇沢6:30＝室堂8:30～8:50→別山乗越12:00→平蔵谷出合13:30

5/3(日)　晴のち曇

今日は長丁場なので早朝4時20分発。長次郎谷に入り登っていくと右より最初のルンゼが入ってくる。1,2峰間ルンゼと見当をつけて登り始めるが後続のパーテイは一つ上のルンゼを目指していくので自信がぐらついて後を追う。一本先の広めのルンゼを息を切らせながら上がり、前のパーテイを抜いて稜線に出たが、2,3峰間のコルのようだ。最初のルンゼが正解。惑わされずに自信を持たなければ、、、。

ここから我々が先行してすぐ3峰へ。眼前に八ッ峰の全貌が姿を現す。鋭峰とナイフリッジが延々と続いている。

ここに来た者にしか味わえないすばらしい景観だ。早速最初の懸垂で 20mほどダウンして 3,4 峰間のコルへ下りる。八ッ峰は懸垂やクライムダウンでとにかく上り下りが多い。まあそれが一つの魅力なのだが。日が当たり始めて雪がだんだん緩くなってきている。この辺はまだそれほど鋭いリッジではなく容易だ。4 峰でも三ノ窓側へ 20m懸垂して 5 峰のピナクルへ達する。ここは

長次郎側へ 25m40mと 2 回懸垂して 5,6 のコルへトラバースする。コルは小広く平地になっていてルート上唯一くつろげる場所だ。ここで時間は 9 時 20 分。これなら剱本峰まで行けるかと思ったが、この後 6 峰の登りで三ノ窓側から行くところをリッジ通しに上がってしまい急傾斜のきつい

トラバースを強いられた。ザイルを出して三ノ窓側へジリジリトラバースしているうちに、後続の 5～6 人パーテイに右側の雪壁を直上して先行されてしまった。後から考えると私にとってはここが核心部だったかなと思う。足を滑らせれば三ノ窓の谷底まで一直線なので、緊張せざるをえないがこれが雪稜登攀の醍醐味でもある。その後 7 峰 8 峰と前パーテイの時間待ちで大幅に時間を食ってしまう。まああせってもルートが細いリッジなので追抜くこと

もできず、まわりの景観を見ながらのんびりと行くことにする。源次郎尾根の 2 峰では懸垂の順番待ちか 10 人以上の人影が見える。太陽はうっすら雲のベールをかぶってきた。今年は寡雪のせいで 7 峰の下りだったか私がクライムダウンした所を釣さんがスノーボラードで

懸垂した一か所を除いて、あとは懸垂支点が使用できた。4月の懸垂トレーニングで各種支点で試してみたことはあまり役に立たなかったが、それはそれで結構なことだ。8峰の登りはアンザイレンして急な雪壁を上がり、そのままちょっといやらしいクライムダウンをしてから、あとは

容易に八ッ峰の頭に出た。釣さんとニッコリ握手を交わす。何事にも動じないパートナーに感謝。

14時30分。大分かかってしまった。池ノ谷乗越まで40mの懸垂で下り、大休止をとる。本峰を廻ると結構時間がかかりそうなので長次郎谷を下降することにした。

先行する釣さんが点になるくらい間隔を空けられて、また一つの山行が終わった感慨に浸りながらのんびりと八ッ峰を眺めながら下って行った。

出合ＢＣ4:20→長次郎出合 4:40→2、3峰間コル7:30〜7:45→5.6のコル9:30〜9:50→八ッ峰ノ頭14:30→池ノ谷乗越15:00〜15:30→平蔵出合ＢＣ18:00

5/4(月)　薄曇

下山はハシゴ段乗越から黒部ダムと考えていたが、何か気がのらないので結局往路を戻って室堂へ出ることにした。朝はゆっくりとテントをたたんで9時半発。だが別山乗越までは長かった。雷鳥の番いだと言っては立止まり振向けば八ッ峰だと言っては立止まりで、室堂までバテてえらく長く感じた。しかし長かったのはそれからで、アルペンルートは連休で大混雑。乗換えの各所で長時間待たされて、扇沢に着いたのは7時頃であった。

平蔵ＢＣ9:30→別山乗越12:00〜12:30→室堂14:20

（2万5千地形図：剱岳,十字峡）